

開会讃美 594番「なおもみめぐみを」

導入 紹介にあずかりました清野です。1990年からTMC29年間、お世話になり、2019年からは顧問牧師になり、つくば市の田舎で、のんびり過ごしています。今日の主題は『信仰者の成熟』で、説教題は、『限りなき成熟を目指して』としました。不思議な神様の恵みによって神の家族に生まれたのですから、一緒に、成熟を目指していきましょう。

I 成熟に向かって

クリスチャンは成長する、クリスチャンになってからたびたび聞かされていたことですが、私自身はクリスチャンの成長・成熟とは何か、解りませんでした。今朝はそれを明確にしていきたいのです。

成熟したクリスチャンとはどんなクリスチャンでしょうか？ 具体的に考えましょう。みなさんは尊敬するクリスチャンに出会ったことがあるでしょうか？ 皆さんが尊敬する成熟したクリスチャンはどのような人ですか。あるいは皆さんが願っている「理想のクリスチャン像」は、どんな人ですか？

実は2006年、めぐみ教会のリーダーたちに『あなたの求めるクリスチャン像は？』と言うアンケートをしました。素晴らしい回答を紹介しましょう。

どのような時にも祈り、極限状況でも、神に受容されている平安を持つクリスチャン。

自分の姿を正しく知って、弱さを隠さないクリスチャン

キリストの香りを放つクリスチャン、自信を持ったクリスチャン。

柔和で、愛と謙遜がオーラとして出ている、頼もしいクリスチャン、

個性があり、優しさと厳しさを持つ、他人を受け入れる大きい度量のクリスチャン。

クリスチャンとしての理想の品性と言えるでしょうか

生活の中に信仰が息づいているクリスチャン。

困難をめぐみとして受け取って、主に信頼して雄々しく歩むクリスチャン

持っている賜物を発揮して、教会と主に仕えるクリスチャン、

人を赦す、人を癒せる、人を励ませる、人を活かすクリスチャン、

賜物を発揮して神と教会に仕えるクリスチャンの理想像でしょうか

家庭を大切に、家族に柔和に接し、子供たちに信仰継承をするクリスチャン

思いと行動が一致していて、日曜日と平日が変わらないクリスチャン、

自分をはっきり持って、現場で厳しい判断が出来る、地域社会に働きかける X。

神に従い、用いられ、社会に流されず、主イエスのような対決姿勢を持つ X。

世の光、地の塩としての、誠実さ、温かさを求める信仰者の理想像でしょうか。

その中に最高の芸術的作品がありました。

『あなたと居ると ハッ！と何かを気づかされる』と言われ、

『あなたと居ると ヒー！切れる』と言われなくて、

『あなたと居ると フー…と肩の力を抜ける』と言われ、

『あなたと居ると ヘー！感動する』と言われ、

『あなたと居ると ホツとする』と言われるクリスチャン。

これは言わば、ハヒフヘホ・クリスチャンですね。この死がきっかけになって、めぐみ教会の『めぐみの階段』という学び会では、自分の理想のクリスチャン像を、『アイウエオ・クリスチャン』で書きましょう、という課題があります。自分の信仰生活のあるいは自分の祈りを5つの言葉で表現する。例えば『あいうえお・クリスチャン』です。紹介します。

あいされていることを 喜び

いかされていることを 喜び

うらみつらみが消えたことを 喜び

えいえんの命がいただけることを 喜び

おそれを取り除いてもらった 喜びでいっぱいの人

うらみつらみが消えたことを喜びが良いですね。自分を正直に告白し、素直に感謝と希望を歌った詩もありました。

ま 真っ黒だった私の心は。 み御言葉によって癒された。 む無限の愛で包まれた
め 目指すは御国『良い僕』。 も 文句は言わずにまっしぐら。

次は非常に真面目で非常に積極的なクリスチャン像を表現した詩です。

か なしんでいる人を慰め、

き の弱い人に勇気を与え

く じけそうになった人を励まし、

け けんかする人に平和を与え

こ ことば(御言葉)に従って生きる人、

さ さらりと、この世の誘惑はねのけて

し 信仰生活 第一に、

す 素敵な笑顔をかがやかせ

せ せっせせっせと奉仕する、

そ そういう人にわたしはなりたい

この傑作の題名は、『めぐみの又三郎』です。

日常生活で体験する信仰の感動を、こんな風に文章にすることを、お勧めます。人は文章を書こうとすると集中します、すると苛立ちや怒りの感情は静まり、我がままに気づき、罪深い思いを振り払うことが出来るのです。また文章を書くことは、論理的にわかりやすく表現しようと考えますから、疑問や悩みの問題の本質が見えるようになるのです。私達は文章を書くことによって、自分の感動や思考をまとめることをするのです。クリスチャンは文章を書くことにより、神様と対話することが出来るのです。皆さん『あいうえおクリスチャン』を作ってみて下さい。意外と簡単です。出来たら私にください。何処に行っても傑作を紹介しています。

II ロマ書 12 章にける成長の3領域

クリスチャンはどのような領域で成長するのでしょうか。先ほどの仲間たちの理想像をよく見ると、クリスチャンの成長には、3つの領域があるように感じます。青文字で記したものです。クリスチャンとしての理想の品性、賜物を発揮して神と教会に仕えるクリスチャンの理想像、世の光、地の塩として、誠実さ、温かさを求める信仰者の理想像でしょうか。

以前は、クリスチャンの成熟を、エペソ書とピリピ書とコロサイ書のパウロ先生の日常の祈りから考えました。しかし今朝はロマ書から学ぼうと思います。実は、クリスチャンがどのように生きて良いのか、成熟への勧めが、ローマ書12章に表現されています。このローマ書は11章までが罪や救いと言う教理の部分で、12章から後半は、クリスチャンはどのように生きるかという実践部分です。ですから12章は、クリスチャンになるために命じられているのではなく、クリスチャンに成った人はどう生きて良いかという勧めなのです。

パウロ先生は以下の3領域で祈っているようです。みてみましょう。

神様へ感謝と献身という領域で成熟

賜物の開発と聖別という領域

豊かな品性への人格形成の領域

1 神様へ感謝と献身という領域で成熟

ロマ 12:1 *そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。*

12:2 *この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。*

まずは、神様へ感謝と献身という領域で成熟していきなさい、と言う勧めです。神様の恵みを頂いたのですから、あなたの人生を、神に捧げなさい。神様の御心を正しく知って、喜んでそれに従いなさい。いつも神様第1とする生き方へ進みなさい。これが成長する第1の領域と言えるでしょう。パウロ先生の不断の祈りでは、こうでした。

ピリ 1:9 *あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。*

コロサイ 1:9 *どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。*

ローマ書では、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るように、ピリピ書では、神のみこころに関する真の

知識に満たされますように。コロサイ書ではあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。

相手の心を理解するには、親しく交わる事ですよね。親しくなると相手が何を考えているか解るものです。私たちが神の御心を親しく知ろうとすると、解るようになるのです。それに喜んで従おうとすると、神様の想いが解るのです。

まさかの病や災いに遭遇しても、神様の善意に信頼し続けると、最後には不思議なことが起こるのです。すると信じて来て良かったと感謝出来るのです。そしてそんな信仰の体験を続けると、愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、たとえ不幸の中にも、神様は見捨てないから、私は信仰を捨てない、と揺るがないようになるのです。さらには神を恐れぬ権力者の前でも、真にすぐれたものを見分けることができるようになり、神以外の何者をも恐れない勇気を得るのです。さらに周りのみんなが神様を無視しても、たった一人でもクリスチャンであり続けよう、と揺るがないように成長するのです。これが信仰者の成熟なのでしょう。うれしいですね。主イエス様と親しく語り合いながら進みましょう。

2 賜物の開発と聖別と言う領域 賜物を開発して奉仕を。

ロマ 12:4 一つのからだには多くの器官があって、すべての器官が同じ働きはしないのと同じように、 12:5 大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。 12:6 私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。 12:7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。 12:8 勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれをしなさい。

パウロ先生は断言します。あなた方は、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているのだから、それをういなさいと。パウロ先生が勧めるクリスチャン成長の2番目の領域は、与えられた賜物を開発して、神様と教会のために用いる領域のようです。驚くべき才能を与えられている、わたしたち一人一人が、その能力を磨き、その才能を賜物として、神様の栄光のために用いていく領域における成長です。

一人一人が、異なった賜物を持っているので、その信仰に応じて、と勧められています。めぐみ教会には、奉仕のルールがあります、自分が出来ることを、自分が出来るように、自分が出来る時に、出来るまでです。この教会には奉仕のノルマや押しつけはありません。

反対に喜んでそれをしなさい。と勧められています。留学時代の友人夫人は、何か奉仕を依頼すると、いつも即決で答えてくれました。「光荣です。やらせていただきます。」爽やかでしたね。

パウロ先生はエペソ教会の信徒のために祈っていました。

エペソ 1:19 また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。

賜物を磨いて何かやってみると、気が付くのです。やってみないと、わからないのですが、やってみると私の内に働く神様の知恵と力がどのように偉大なものであるかを体験するのです。

3 豊かな品性への人格形成の領域

ロマ 12:9 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善に親しみなさい。

12:10 兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。 **12:11** 勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。

12:12 望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。 **12:13** 聖徒の入用に協力し、旅人をもてなしなさい。

12:14 あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福すべきであって、のろってはいけません。 **12:15** 喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

この長い勧めの言葉をまとめれば、

隣人を愛しなさい。善を行ないなさい、他者を尊敬し、勤勉仕え、熱心に励み、奉仕の心で仕え、絶望しないで希望を持って、喜びをもって祈り、誰でも暖かくもてなし、自分に悪を行う者をも赦し、隣人の喜びや悲しみに心から共感するように、いつも平安でありなさい、復讐してはいけません。ということでしょう。それは一言でいうと、あなたがたの品性を高めなさいでしょう。もう一つの成長の領域は、人格の成長であり、品性の聖化です。パウロ先生は毎日、信仰者の品性がきよめられるように祈っていたようです。

エペソ3:16 どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。

ピリピ 1:9-11 私は祈っています。あなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現わされますように。

内なる人が強くなるように、他人との無意味な比較を止めて、落ち着いて生きるように。自分の行為を常に 純真で非難されるところがない愛を動機にしてきれいに日々過ごすように。人格の成長であり、品性の聖化ですね。私たちの願いですね。

義の実に満たされている者となり、御霊の実を实らせた人格に変えられていく、そんな領域における成長です。私たちは罪深い社会の中で成長して来ました。それ故に、人格に歪みがあったり、心に傷があったり、品性に堕落が残っています。神様がそんな私たちを聖化してくださるとは、そのような歪みが正され、心の傷が癒されることでしょう。嬉しいですね。

クリスチャン成長の3領域

- 1、賜物の開発と聖別：委ねられた賜物を磨き、主の栄光のために捧げて、預言する(教え、勧め、励ます)
- 2、人格の聖化：品性の聖化、その人格に御霊の実を实らせる。
- 3、神への従順と献身：神第1の価値観に進み、神の御旨を正しく知ってそれを行う。
クリスチャンの成長とは、この3つの領域における、バランスのある無限の成長です。これも嬉しいことです。

III クリスチャン成熟の本質は謙りの道

パウロ先生は3領域の成長を勧める最初と最後に、重大な真理を加えます。

ロマ 12:3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。そして最後に再び命じます。

ロマ 12:16 互いに一つ心になり、高ぶった思いを持たず、かえって身分の低い者に順応しなさい。自分こそ知者だなどと思っはいけません。

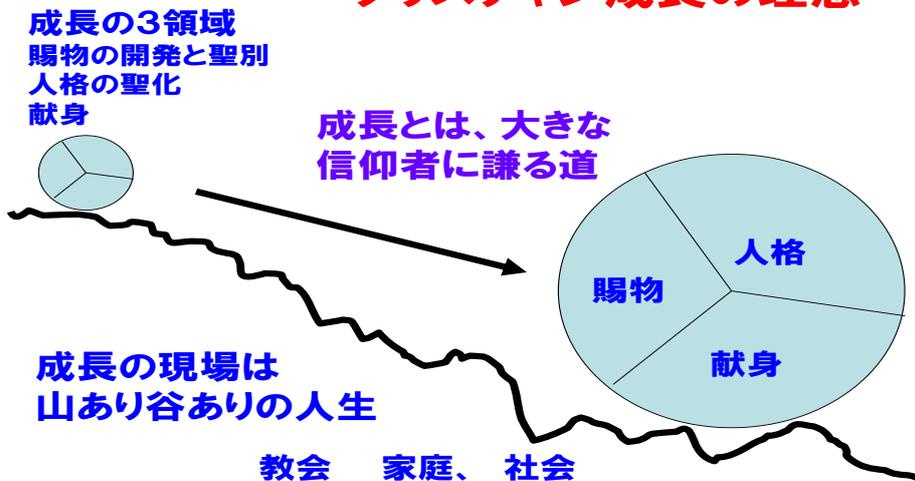
パウロ先生が重ねて勧める事実から、クリスチャン成長の本質的な真理を教えられるのです。すなわち『**限度を超えて思いあがるな、慎み深く考えよ、高ぶった思いを持つな、自分を知者などと思ふな**』。一言でいうと、『本物のへりくだり』ですね。

クリスチャンの成長とか言うと、すぐに、主イエスの弟子になるための厳しい勉強や、熱心な祈りや、忠実な教会生活、また献身的な献金、と言うイメージが浮かびます。しかしそのような厳しい学習や研修によって得た知識が、その信仰者を高慢にしまう悪しき例も、よく見るものです。立派になった教会員が高慢になって、結局教会から徒党を組んで出て行ってしまった。それは最悪でしょう。

そんな教会の不幸な事例を知って悩んで、私はいわゆる成長プログラムに懐疑的になっていました。しかしついここに解決が与えられました。**クリスチャン成熟の本質はへりくだりだ**という真理です。

このへりくだりを入れた次の図が、『**クリスチャン成長**』の正確な概念だと想います。

クリスチャン成長の理念



めぐみ教会には、信仰成長コースというクラスがあり、その名は『めぐみの階段』と言います。そこでもっとも大切な点は、クリスチャン成長のめぐみの階段は、上るのではなく下るのです。クリスチャンその人物は大きくなるのですが、クリスチャンの成長とは、へりくだることなのです。

クリスチャンが成長することは、仲間の中で威張るようになること、自分の意見に固執し頑固になること、自分の能力や立場を誇ることは、まったく反対なのです。クリスチャンにとって『成長する』の反対語は、『成長しない』ではなく、『傲慢』なのです。

クリスチャンが成長するとは、どれだけ有名になったかよりも、どれだけ委ねられた賜物を主と教会のために用いているかでしょう。どれだけ大きな仕事をしたかよりも、どれだけあらゆる状況で神様の御心に沿った判断や行動をしているかでしょう。そしてどれだけ主イエス様のような人格になったか、ではないでしょうか。

聖フランチェスコをご存知でしょう。彼を知るすべての人が、彼を聖人と呼びました。しかし彼自身の最後の祈りは、『主よ、罪びとの私をお許してください』でした。ただただ神の憐みによって生きたことを、心の奥底まで自覚して、こんな祈りをする信仰者こそ、人物は大きく成長しながら、その心はへりくだっている。これこそ『クリスチャンの成熟』ではないでしょうか。

ではそのように、高慢にならずに、へりくだりの成長をするためには、何に心がければよいのでしょうか。それはここで礼拝する仲間たちと、一緒に少しずつ学び体験していきましょう。今朝は、そのためのヒントを紹介しましょう。あいうえおクリスチャンの傑作を紹介します。

キリストをもとめ、キリストをめざし、キリストにむかい、キリストのみくにを想い、キリストをまち望む、

マミムメモの逆さ並びです。凄いテクニックですね。それに素晴らしい内容ですね。これは成長を願うクリスチャンが心がけることを示しているように思います。成長する

ことは何も難しいことではない。この詩のように、ただただ主イエス様の愛と聖さを求め、主イエス様のような人格になることを目指すこと。この世の虚飾ではなく主イエス様に向かい、主イエス様と共なる御国を夢見て、主イエス様の最善を期待しつつ平静に歩み続けること。そんな信仰の歩みなのでしょう。あこがれますね。この詩を読んでいるうちに、敬虔なクリスチャン詩人八木重吉の詩を思い出しました。

キリストをおもいたい、いっぽんの木のようにおもいたい。ながれのようにおもいたい。

彼の心からの祈りでしょうね。実はパウロ先生も成長をひたすらに祈っていました。

ピリピ 3:12—14 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求しているのです。兄弟たちよ。私は、自分はずでに捕らえたなどと考えるはけません。ただこの一事に励んでいます。すなわちうしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。

このように、信仰者の成熟は、この群れの仲間の祈りであり、八木重吉の祈りであり、パウロ先生の祈りなのです。そしてそれは、私たちの心からの祈りですよ。そしてこの祈りの答えをパウロ先生は確信して告白しています。

ピリピ 1:6 あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。

この確信に基づいて、パウロ先生はテサロニケのクリスチャンのために祈りました。祝祷の言葉をPPTで出したりしませんが、嬉しい祝祷です、ご覧ください。

祝祷 I テサ 5:23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。5:24 あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてください。

祈禱、そのような慈しみに満ちた父なる神様に、信頼して祈りましょうか。

私たちの中で善い業を始められた神様、あなた様は私たちを、罪と咎の中から拾い上げて下さいました。心から感謝いたします。そればかりか、私たちに成熟と言う素晴らしい目標をみせてくださいます。私たちは与えられている賜物を用いて喜んであなた様と教会に仕えたいです。御霊の実を持つ人格に成熟したいです。最後の最後まであなた様に喜ばれる人生を全うしたいのです。また成熟への階段をどこまでも下りて行きます。お導きください。まったく聖なるものにして下さるあなた様に信頼しつつ、主イエス様のお名前によって、ひたすらに祈ります。アーメン

応答賛美 わたしたちの祈りの讚美 295 「成したまえ汝が旨」

紹介と報告

頌栄 テーマソング

祝禱 I テサ5:23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。5:24 あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてくださいます。主イエス・キリストの恵み、父なる神の慈しみ、聖霊なる神の親しい交わりが、神を愛する者たちと共に、豊かに限りなくありますように。アーメン